



令和7年12月3日（水）

令和7年度 地域公共交通シンポジウム in 中部



地域での支え合いによる 高齢者移動支援の活動について

～＋αの高齢者移動支援事業～

【発表者】

日進市都市産業部都市計画課 課長補佐 野村 圭一

豊田市青少年相談センター スクールソーシャルワーカー 富岡 亜希子



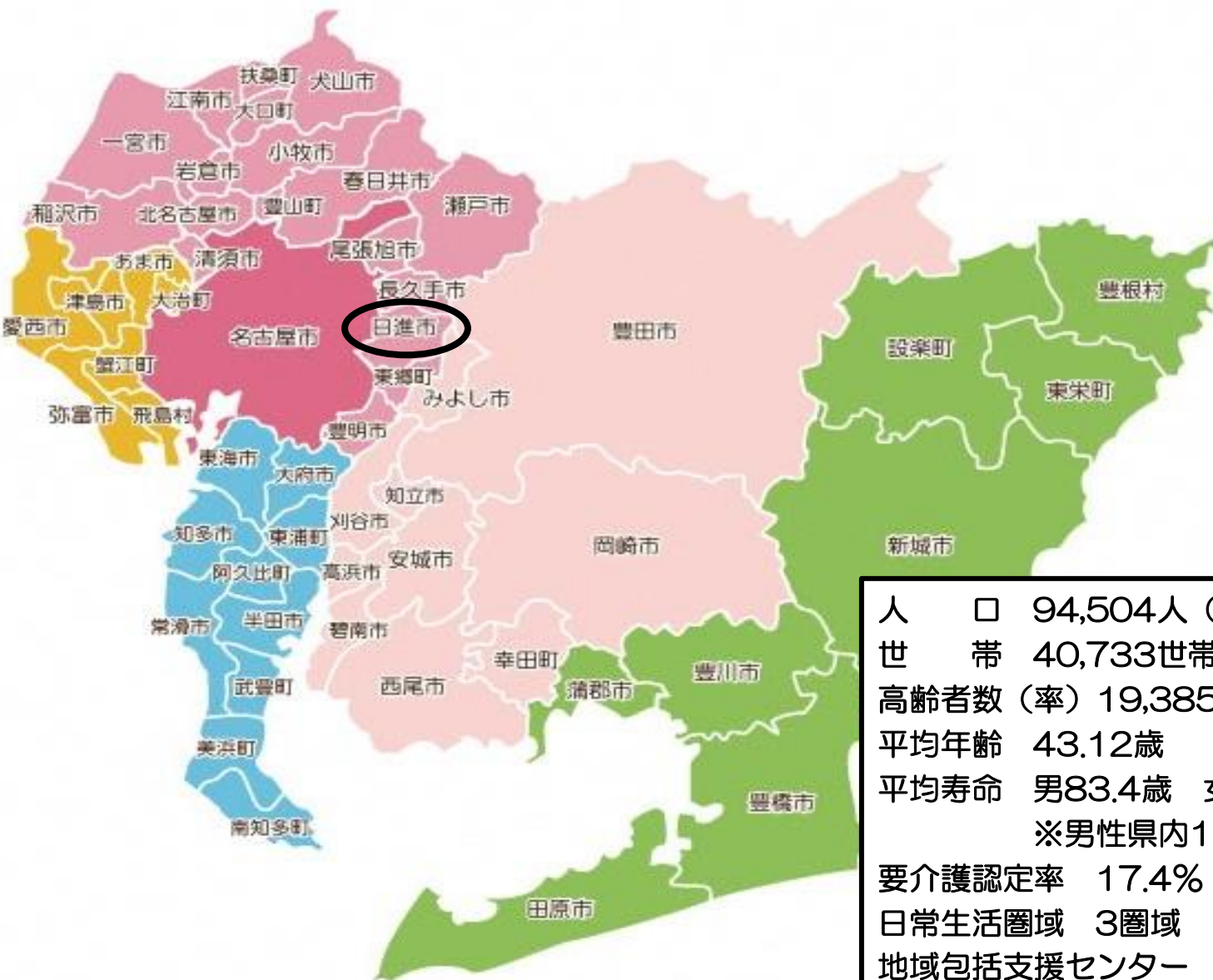
目 次



- 1 日進市の概要（位置・概要、将来人口推計、SCの配置 等）
- 2 住民主体の支え合いによる移動支援
 - （1）きっかけは住民の方からの声
住民主体の支え合いだからこそ生まれる効果
 - （2）行政、社会福祉協議会・生活支援コーディネーターの基本的な
心構えと役割
- 3 日進市高齢者移動支援推進事業について
 - （1）高齢者移動支援推進事業の概要（令和2～4年度）
 - （2）モデル事業実施地区の実施状況（令和2～4年度）
 - （3）令和5年度以降の事業の広がり
- 4 事業の成果及び評価、今後の課題



1 愛知県日進市の概要



地域包括支援センター 3箇所（委託型）



日進市の将来人口推計

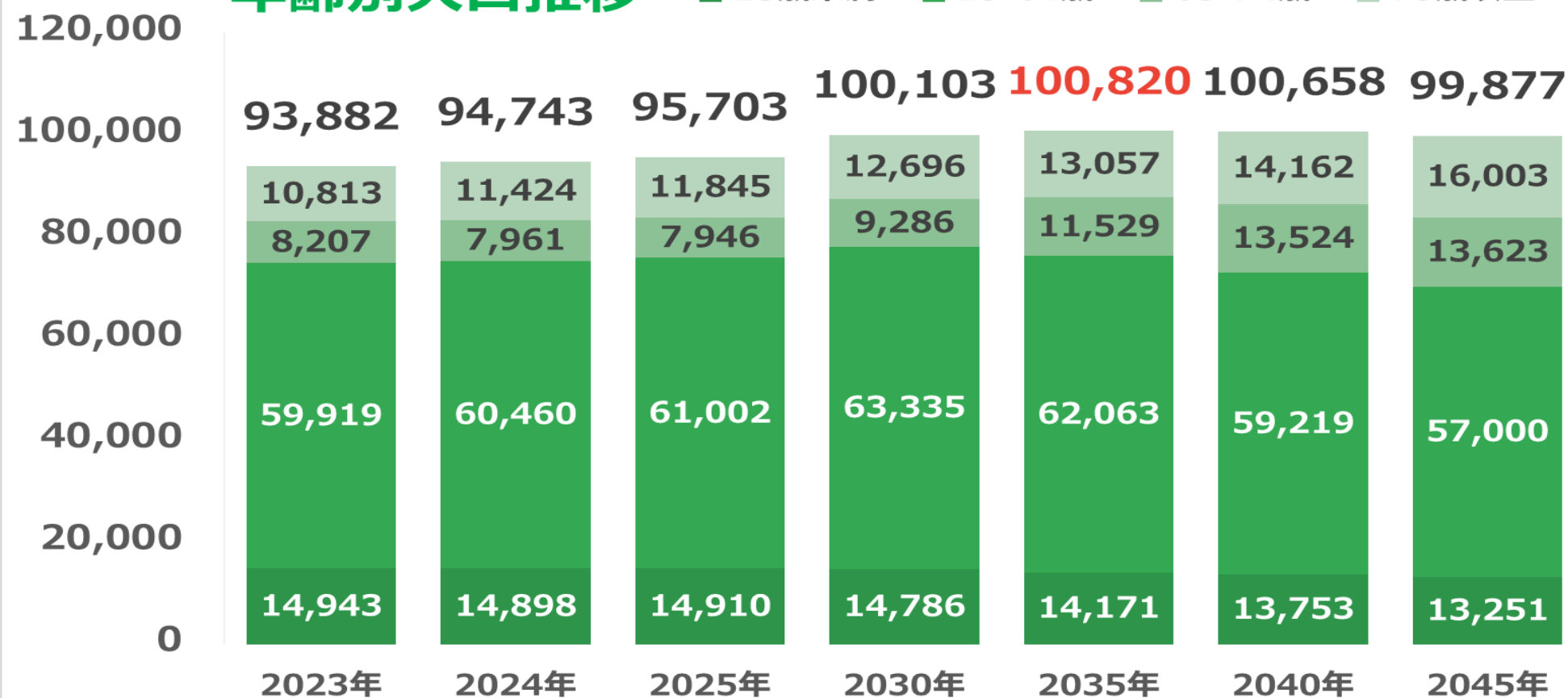


○総人口は2035年をピークに減少に向かう。

○年少（～15歳未満）人口や生産年齢（15～65歳）人口は減少傾向となるが、高齢者（65歳～）人口は2045年まで増加を続ける。

年齢別人口推移

■ 15歳未満 ■ 15-64歳 ■ 65-74歳 ■ 75歳以上

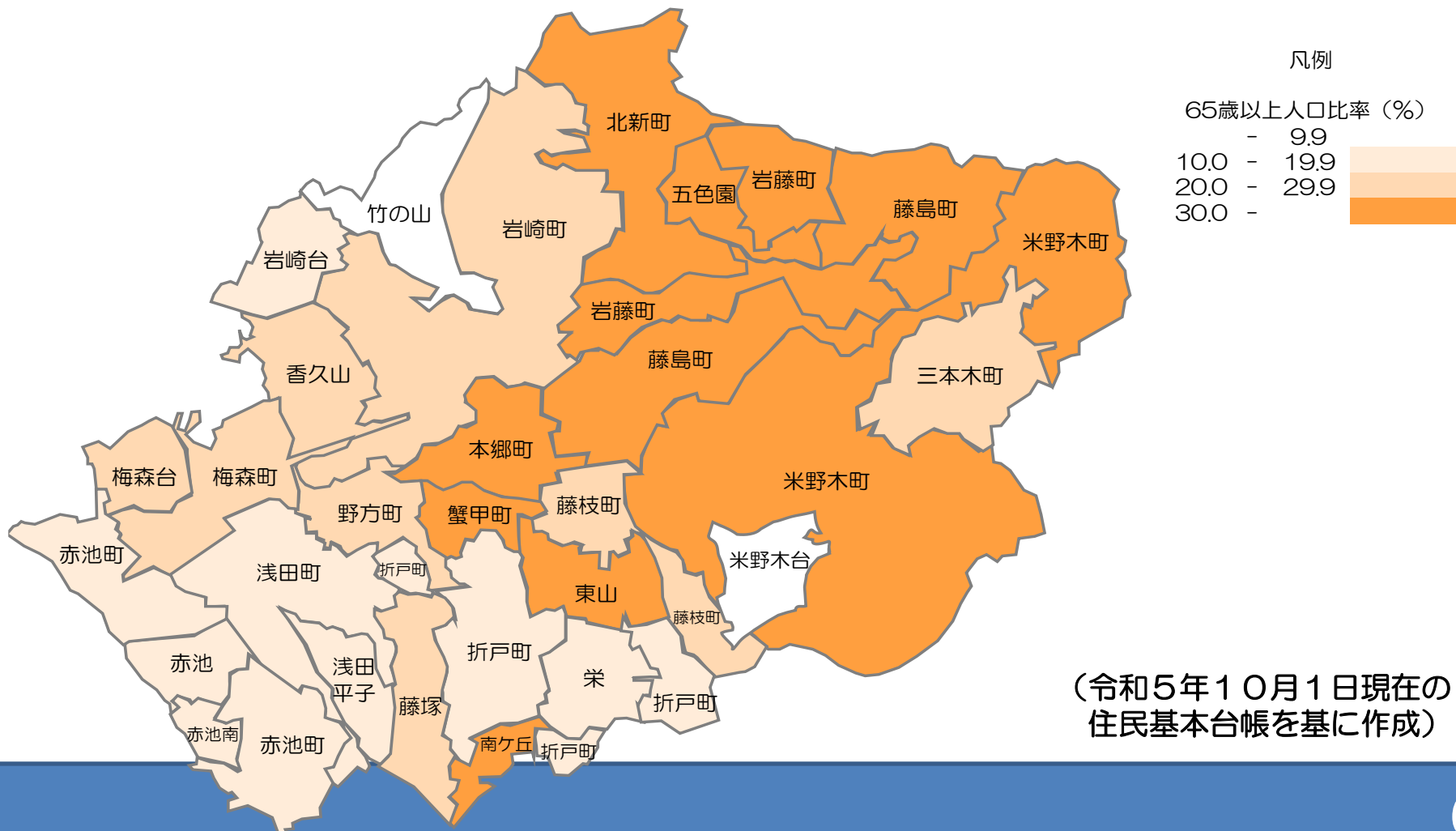




日進市の町別65歳以上人口比率

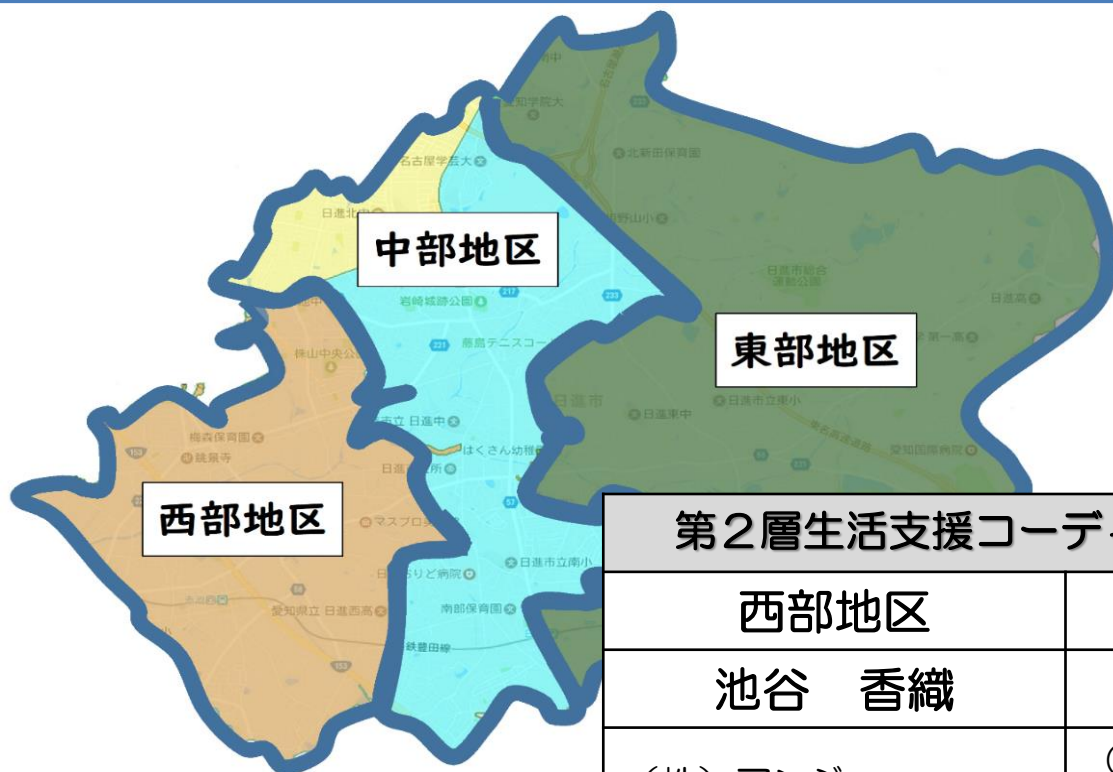


○町別に65歳以上人口比率を比較すると、65歳以上人口比率が30%を超えている地域は市内に9地域ある一方で、10%未満という地域が2地域ある。





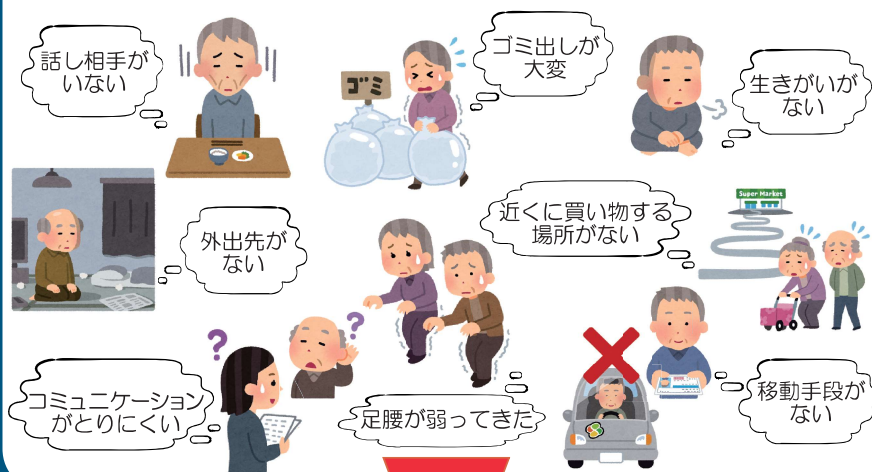
生活支援コーディネーターの配置



第2層生活支援コーディネーター ※生活圏域ごとに地区を担当		
西部地区	中部地区	東部地区
池谷 香織	森 彩	浅野 理絵
(株) アンジュ	(社福) 日進市社会福祉協議会	(特非) 介護サービスさくら
赤池・赤池南・浅田・浅田平子・梅森・梅森台・野方・香久山・岩崎台	蟹甲・折戸・栄(1・2丁目)・本郷・岩崎・岩藤・南ヶ丘・東山・藤塚・竹の山	藤枝・米野木・三本木・藤島・北新・五色園・栄(3～5丁目)
第1層生活支援コーディネーター ※市内全域を担当		
福田 有輝・長峰 恵理香・近藤 敬康		
(社福) 日進市社会福祉協議会		

いつまでも「自分の家で」
「住みなれた地域で」暮らしたいから…

ちょっとした困りごとがあれば…



みんなで支え合って、解決していきましょう！



日進市内に 生活支援コーディネーターを 設置しています！

Q: なぜ、生活支援コーディネーターが配置されているのですか？

助けが必要な日常の生活支援は「地域の住民が主体になって支えていこう」と介護保険が改正され、生活支援コーディネーターが配置されるようになったのです。

例えば…



第2層生活支援コーディネーター		
※生活圏域ごとに地区を担当		
地域別に住民の方と一緒に支え合いの仕組みづくりを行います！		
西部地域	中部地域	東部地域
池谷 香織	森 彩	浅野 理絵
(株)アンジュ 事務所内	(社福)日進市社会福祉協議会内	(特非)介護サービスさくら事務所内
赤池・赤池南・浅田・浅田平子・梅森・梅森台・野方・香久山・岩崎台	蟹甲・折戸・栄(1・2丁目)・本郷・岩崎・岩藤・南ヶ丘・東山・藤塚・竹の山	藤枝・米野木・三本木・藤島・北新・五色園・栄(3～5丁目)



2 住民主体の支え合いによる 移動支援



2 住民主体の支え合いによる移動支援



きっかけは住民の方からの声

- ごみ出しや家具の移動、お庭の草むしり、電球交換、見守り、身近なつどいの場への送迎など、高齢者の日常生活における困りごとはたくさんある。かつ、困っている方の顔が具体的に思い浮かぶ。
 - こういった日常生活におけるちょっとした困りごとに対して、高齢化が進む地域や今後高齢化が見込まれる地域の住民から、「プロにお願いするほどのものではないが、将来に備えて、行政に頼るばかりではなく、**自分たちでできることはないのか**」という**声も**。
 - 困りごとを、住民どうしの支え合い・助け合いの仕組みによって解決しようとする動きへ。ただ、地域によって困りごとは異なるし、解決のためのしくみもそれぞれ。
- 大事にしたいのは、その地域に住む方にとっての困りごとはなにか、解決のために住民として何ができるのか（何ができないのか）を、住民の方自身が気づき、考えていくこと。**住民の方がモヤッと考えているところに、行政や生活支援コーディネーター（SC）からの働きかけによって、具体的な形が見えてくることもある。



2 住民主体の支え合いによる移動支援



住民主体の支え合いだからこそ生まれる効果

○移動支援が目的ではなく、地域づくりが最終的な目的

- | | |
|--------------------|--------------|
| 例) 毎週利用するはずの方が乗らない | → 見守り |
| 通院や買い物以外の外出控え | → 外出のきっかけづくり |
| 顔の見える関係づくり | → 災害時の安否確認 |

○利用する方、支援する方双方にとっての生きがいや介護予防





2 住民主体の支え合いによる移動支援



行政、社会福祉協議会・生活支援コーディネーターの基本的な心構え

心構えその①

行政等は、住民の方が考えるためのきっかけや場づくり、素材の提供が基本。

- 例) チラシの回覧による啓発
- 講演会による他地域の取組紹介
- 住民アンケートのひな型提供
- 打ち合わせへの参加

心構えその②

やる・やらないも含めて、決めるのは住民の方の選択。ワンコインサービスや移動支援を含めた支え合いを実施するかどうかは、あくまで結果論。

- 例) 「ありき」「やりませんか」で話を進めない
- 地域ごとのばらつきを恐れない
- 「やらない」と決めたことも尊重

心構えその③

住民の方がやる、と決めたら全力で支援する。



2 住民主体の支え合いによる移動支援



行政の役割

基本的な役割

- (1) 道路運送法等法令関係の整理、運輸支局への確認
- (2) 関係機関等との連絡調整
- (3) ボランティアドライバーの養成講座等安全運転・人材確保
- (4) 車両の確保
- (5) 財政的な支援

社会福祉協議会、生活支援コーディネーターの役割

基本的な役割

- (1) きっかけづくり
講演会による他地域の取組紹介、チラシの回覧による啓発
- (2) 考える場づくりや素材提供、心配ごとへの寄り添い
打ち合わせへの参加、住民アンケートのひな型提供、保険勉強会の企画
- (3) 代替案の提案



2 住民主体の支え合いによる移動支援



行政の役割 (1) 道路運送法等法令関係の整理、運輸支局への確認
(2) 関係機関等との連絡調整

高齢者移動支援推進事業ネットワーク会議

- 学識経験者、タクシー事業者、市内福祉有償輸送運行事業者、モデル事業実施地区の関係者、生活支援コーディネーター等で構成。
 - 第1回 (R2/12/14) モデル事業実施の趣旨説明、モデル事業実施状況報告
 - 第2回 (R3/3/23) モデル事業実施状況報告
 - 第3回 (R3/8/13) モデル事業実施状況報告
 - 第4回 (R4/11/2) モデル事業実施状況報告
 - 第5回 (R5/3/27) モデル事業成果報告、令和5年度事業について
- 活動形態について、道路運送法や各種通知との抵触について確認



2 住民主体の支え合いによる移動支援



行政の役割 (3) ボランティアドライバーの養成講座等安全運転・人材確保

モデル事業実施地区のドライバー等を対象に養成講座（安全運手講習会）を開催

①内 容：住民参加の移動支援事例紹介、運転に必要な知識と心構え、運転実技

②講 師：NPO法人移動ネットあいち、東山自動車学校（令和6年度途中～）

③開 催：＜令和2～4年度＞

令和3年1月31日（日）、2月28日（日）、7月18日（日）

令和4年3月27日（日）、9月4日（日）、令和5年2月25日（土）

＜令和5年度＞

令和5年7月23日（日）、令和6年1月28日（日）

＜令和6年度＞

令和6年7月28日（日）

令和7年1月25日（土）、2月20日（木）、3月22日（土）



○ボランティアドライバー養成講座の定期開催による人材確保

特にモデル事業実施地区外からの協力者の掘り起こしやマッチングのしくみづくり



2 住民主体の支え合いによる移動支援



行政の役割 (3) ボランティアドライバーの養成講座等安全運転・人材確保

モデル事業実施地区のドライバーを対象にフォローアップ講座を開催

- ①内 容：①普通自動車の安全運転技能講習（車の死角、高齢者講習コース走行）
②座学（正しい右左折、進路変更の方法、駐車と停車）

②講 師：東山自動車学校

（日赤愛知県支部から自動車学校協会を通じて講座開催を打診）

③日 程：令和6年5月19日（日）





2 住民主体の支え合いによる移動支援



行政の役割 （４）車両の確保

①市がリース契約を結んだ車両（１台）を５地域に貸与（令和２～４年度）

	時間帯	月	火	水	木	金	土	日
	午前	日東	南ヶ丘	岩根	日東	南ヶ丘	南ヶ丘 (第２・４)	
	午後	日東			日東	藤塚	日生 (第１・３)	

②市が購入又は無償貸与を受けた車両（２台）を８地域に貸与（令和５年度～）

○高齢者移動支援専用車の購入（令和４年度予算）※地域福祉基金の活用
愛知県モデル事業終了後も、継続して車両貸出が可能に。

○日本赤十字社愛知県支部との共同により地域の支え合いを通じた高齢者健康生活支援事業（モデル事業）を実施し、その一環で移動支援車両の無償貸与を受ける



2 住民主体の支え合いによる移動支援



②市が購入又は無償貸与を受けた車両（2台）を8地域に貸与（令和5年度～）
R7年4月以降高齢者移動支援専用車利用状況

	車両	月	火	水	木	金	土	日
午前	市購入車		南ヶ丘	岩根		南ヶ丘	南ヶ丘 (第2・4)	
	日赤車	日東	五色園	岩崎台	日東			
午後	市購入車			香久山 (第2)		藤塚	日生 (第1・3)	
	日赤車	日東		香久山 (第2)	日東			





2 住民主体の支え合いによる移動支援



行政の役割 (5) 財政的な支援

○令和5年4月から「**日進市住民主体による介護予防・生活支援サービス事業補助金交付要綱**」を整備し、高齢者の介護予防・生活支援を推進するため、住民主体による介護予防・生活支援サービスの実施に要する経費の一部を助成。

＜補助対象経費及び補助金の額＞

補助対象経費	補助金の額
謝礼（ドライバーへの謝礼含む。）、旅費、消耗品費、燃料費、光熱水費、印刷製本費、修繕費(軽微なものに限る。)、通信運搬費、手数料、保険料、使用料及び賃借料、委託料、備品購入費その他市長が適当と認める経費	1月当たり16,000円

備考

住民主体移動支援サービスを行う車両に係る燃料費については、利用者から実費を越えない範囲で徴収するものとし、実費から徴収した額を引いた額を補助対象経費とする。

次の各号に該当するものを除く。

- ①飲食等に係る食糧費 ②施設整備に係る費用（軽微な改修は除く。）
- ③不動産及び不動産に準ずる動産（自動車等）の取得費



2 住民主体の支え合いによる移動支援



(吹出し) SCが
活躍した部分

社会福祉協議会、生活支援コーディネーターの役割

(1) きっかけづくり

にっしん地域支え合い円卓会議ー地域の支え合いに関する講演会ーを開催

SCによる
企画運営

令和元年度第1回 令和元年7月15日(月・祝)

①内 容

- ・講演『住民等が担う移動・外出支援について』
講師：河崎 民子氏(NPO法人全国移動サービスネットワーク)
- ・第2層協議体(3地区に分かれて意見交換)

②参加者：98名

令和元年度第2回 令和元年7月15日(月・祝)

①内 容

- ・講演『移動支援の現状』
講師：遠山 哲夫氏(NPO法人移動ネットあいち)
- ・パネルディスカッション(日進市における移動支援の取組紹介)

②参加者：87名



2 住民主体の支え合いによる移動支援



社会福祉協議会、生活支援コーディネーターの役割

(1) きっかけづくり

(2) 考える場づくりや素材提供、心配ごとへの寄り添い

令和2年度第1回にっしん地域支え合い円卓会議（YouTubeによる配信）

①内 容

- ・生活支援体制整備事業が 始まりました／必要となる社会的背景
- ・「日進市高齢者移動支援推進事業」が始まります。

②日 程：令和2年8月～

移動支援に関する勉強会

①日 程：令和2年10月22日
令和3年12月12日

②内 容

- ・「移動支援の保険」について
- ・保険の説明 「移動支援サービス専用自動車保険に関するご提案」
「ふれあい活動総合補償保険（移動サービス保険）」

③参加者：モデル事業実施地区の関係者 等



2 住民主体の支え合いによる移動支援



社会福祉協議会、生活支援コーディネーターの役割 (3) 代替案の提案

高齢者移動支援の取り組みが難しいと思われる地域に対しては、移動販売の誘致や病院による巡回バスの代替案を提案

移動スーパー

お惣菜やお菓子、洗剤など日用品を乗せて地域を回る移動スーパーです。どなたでもご利用いただけます。毎週決まった曜日に地域の拠点や自宅の前に移動販売の車両がお伺いします。また、お肉やお魚など車間では販売していない商品でも前日までにご連絡をいただくことで次回お伺いする際にお届けさせていただきます事も可能です。

実施地域

南ヶ丘 藤島台 日の出ヶ丘団地 本郷
東山地区（一部） 岩崎地区（一部）

とどけまっせ

福友病院巡回バス/ハツラツ教室

福友病院さんのご協力のもと運営し、皆さんが暮らす地域の移動をサポートする巡回バス

『福友病院巡回バス/ハツラツ教室』

福友病院巡回バスは、福友病院さんのご協力のもと、車の運転が難しい方や交通手段が限られて、外出が困難な方々の悩みから始まった取り組みです。地域の皆さんの移動を支え、安心して暮らせるようにサポートしています！

令和6年10月1日から藤島地区巡回ルートを新たに設けました！また、五色園巡回バスは1便増便しました！

＊送迎バスの乗降場所・時刻は右記の時刻表をご参照下さい。
また、福友病院では、転倒予防や体力づくりを目的としたハツラツ教室も開催しています。無理なく楽しく体を動かせる内容となっていますので、ご参加希望の方はご相談ください！



五色園巡回ルート

乗降場所	第1便	第2便	第3便	第4便
福友病院	8:50	9:50	10:50	11:50
相野山福祉会館	8:55	9:55	10:55	11:55
つばき台	8:57	9:57	10:57	11:57
かえで台北	8:59	9:59	10:59	11:59
かえで台	9:01	10:01	11:01	12:01
五色園	9:03	10:03	11:03	12:03
五色園南	9:05	10:05	11:05	12:05
五色園東	9:07	10:07	11:07	12:07
福友病院	9:12	10:12	11:12	12:12

藤島地区巡回ルート

福友病院	9:23	11:30
藤島ファミリーマート前	9:30	11:37
藤島台	9:32	11:39
藤島小万場（三角公園前）	9:34	11:41
藤島公会堂	9:36	11:43
五反田	9:38	11:45
福友病院	9:45	11:52



2 住民主体の支え合いによる移動支援



「地域公共交通計画」との連携に向けて（福祉部局の立場から）

○地域公共交通計画を策定するにあたり、福祉部局からお願いしたこと。

- ・住民主体の移動支援「ありき」の計画としないこと。
→公共交通と住民主体の移動支援は、スタートラインが別。
- ・福祉有償運送事業者や移動支援実施地区へのヒアリング
→公共交通が利用できない方、地域の取り組み等への目配せ。

○住民主体の移動支援については、過渡期。道路運送法等上の整理・解釈の統一や、住民が移動支援を担うことへの社会的な理解も必要。

→令和6年3月1日付物流・自動車局旅客課長

「道路運送法における許可又は登録を要しない運送に関するガイドライン」前文は、地域福祉の立場からは画期的。

『・・・このガイドラインの運用にあたっては、**無償運送行為が本来は自由に行えるものであり、一般の方々が「許可又は登録」をせずに行える運送行為を安心して行えるよう**記述したものであることを理解しておく必要がある。』



3 日進市高齢者移動支援推進事業 について



(1) 日進市高齢者移動支援推進事業の概要 (愛知県モデル事業 R2～R4)



愛知県からの事業委託の概要

目的

急速に高齢化が進行するなか、運転に不安を持つ高齢者が、自家用車に依存しなくても生活できる環境を整備するため、高齢者のための移動手段を確保、拡大すること。

実施形態

愛知県からの事業委託（モデル事業として実施）

※受託市町：瀬戸市、半田市、犬山市、日進市、北名古屋市、設楽町

（事業委託までの経過）

令和2年3月 6日	企画提案募集開始
3月17日	企画提案書提出
3月27日	プレゼンテーション審査
3月30日	選考結果通知

実施期間

令和2年度からの3年間



(1) 日進市高齢者移動支援推進事業の概要 (愛知県モデル事業 R2～R4)



赤枠の部分：一般・乗合で定時・定路線で定期運行する「くるりんバス」

青枠の部分：NPO法人が自家用車を用いて運行する「福祉有償運送」

緑枠の部分：道路運送法の規定外で許可・登録を要しない輸送

種類		特徴
バス	路線バス	路線やバス停、運行時刻を定めて定時・定路線で運行するバス。通勤・通学、通院など地域住民の生活に欠かせない公共交通機関。
	コミュニティバス	路線バスで対応しきれないニーズに応えるため、市町村が主体的に計画し、定時・定路線で運行するバス。
	デマンドバス	区域を定めて、利用者の要望に応じて、機動的に最短ルートを実行したり、利用希望のある地点まで送迎したりするバス。
タクシー	タクシー	子供からお年寄りまで幅広い利用者の日常生活における多様な移動ニーズに応える、ドアツードアのきめ細かいサービスを提供する公共交通機関。
	乗合タクシー	地域の生活交通を維持するため、タクシー事業者が自治体と連携して提供する乗合の運送サービス。定時・定路線からデマンドまで地域のニーズに応じて多様な形態で運行。
自家用有償旅客運送		バス・タクシー事業が成り立たない場合であって、地域における輸送手段の確保が必要な場合に、必要な安全上の措置をとった上で、市町村やNPO法人等が、自家用車を用いて提供する運送サービス。
道路運送法の許可・登録を要しないもの(互助)		地域の移動手段の確保のため、道路運送法の許可又は登録を要しない助け合いによる運送。(収受することが可能な範囲は、運転者が実際の運送に要するガソリン代、道路通行料、駐車場料金、自発的な謝礼)



(1) 日進市高齢者移動支援推進事業の概要 (愛知県モデル事業 R2～R4)



3年間のモデル事業で目指す姿

(企画提案当初)

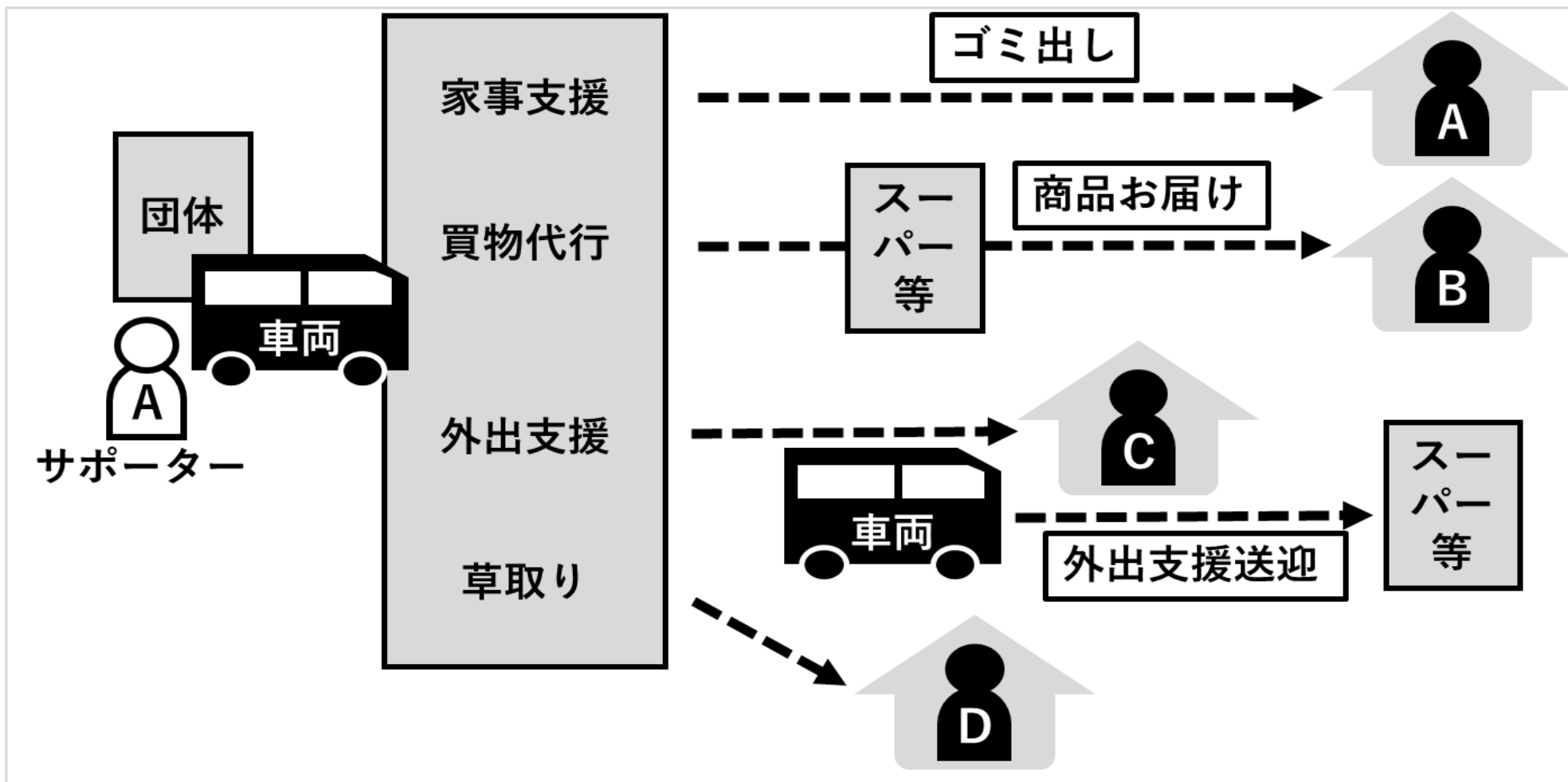
- いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために「移動・外出」は欠かせない要素。
- 3年間のモデル事業を通じて、日常生活での外出（医療機関等への通院、スーパー等への買い物、金融機関等での用事）だけを支援するのではなく、「外出したくなる」「外出がより楽しくなる」「地域の方とのつながりができる」ための＋アルファの付加価値（行先）を付けた移動支援モデルの創出を目指す。
- 具体的には、次の3つのタイプで運行
 - ①ワンコインサービス等住民主体による家事等支援と一体として実施する家事支援一体型タイプ（マッチング型）
 - ②時間や停車場所を決め、日常生活に必要な外出（スーパー・コンビニ、クリニック、金融機関、公共施設）の他、つどいの場等を巡回しながら移動支援を行う定時定路線タイプ（巡回型）
 - ③運転者が買い物に行くついでに、希望者を同乗させるついで支援タイプ



(1) 日進市高齢者移動支援推進事業の概要 (愛知県モデル事業 R2~R4)



①家事支援一体型タイプ（マッチング型）のイメージ

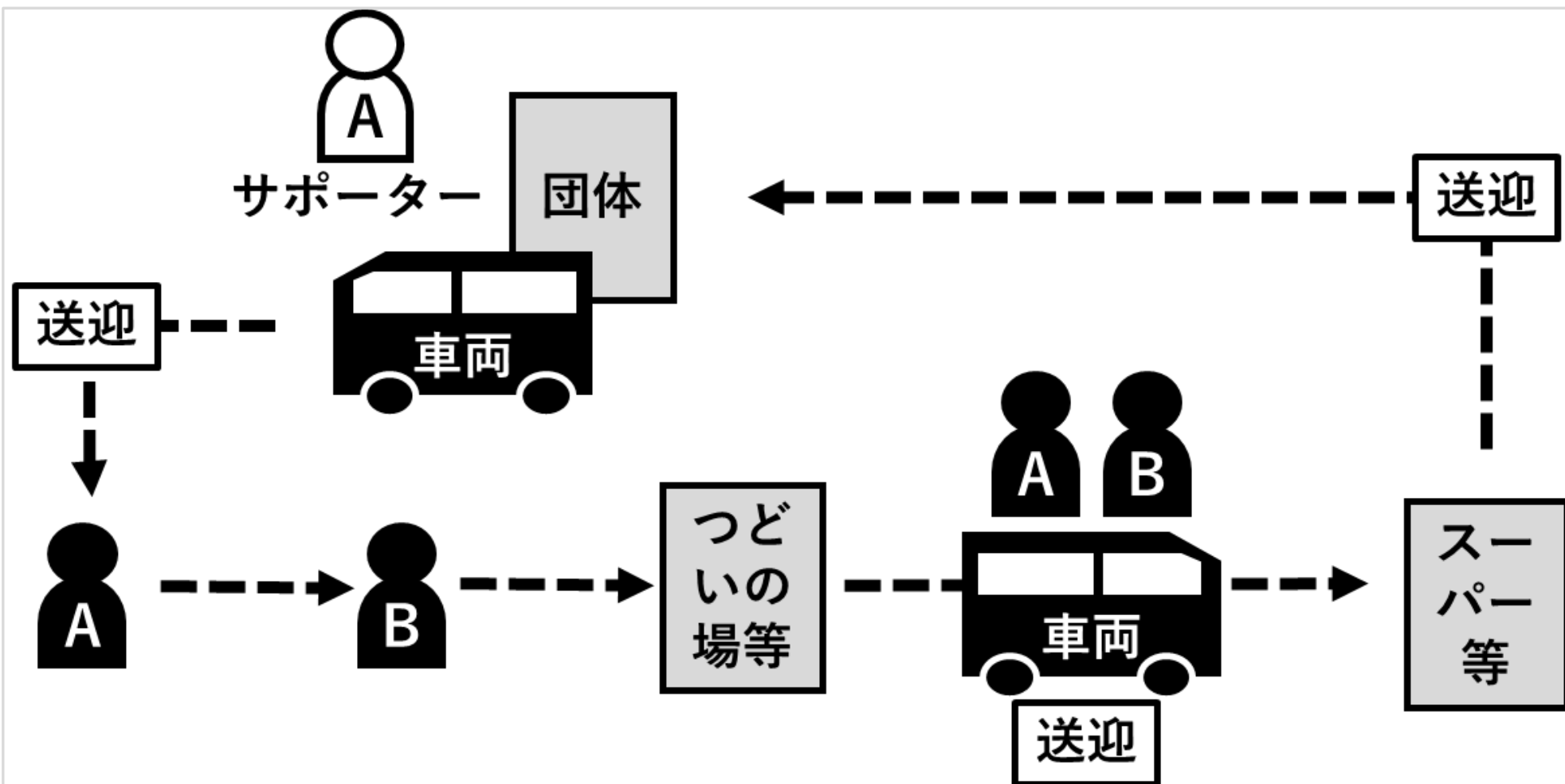




(1) 日進市高齢者移動支援推進事業の概要 (愛知県モデル事業 R2~R4)



②定時定路線タイプ（巡回型）のイメージ





(2) 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区の実施状況



日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区（9地区）

凡例

- ：家事支援一体型タイプ実施地区
- ：定時定路線タイプ実施地区
- ：ついで支援タイプ実施地区





(2) 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区の実施状況



日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区別人口・高齢化率

地区等名	人口	世帯数	高齢者数	高齢化率	タイプ
香久山	6,508	2,849	1,500	23.05	マッチング
日進ニュータウン※1	961	385	289	30.07	ついで
五色園	3,802	1,587	1,301	34.22	マッチング
日東東山※2	1,909	807	649	34.00	巡回
南ヶ丘	1,978	808	569	28.77	巡回
岩根※3	1,146	515	327	28.53	巡回
藤塚	5,516	2,245	1,084	19.65	巡回
岩崎台	5,885	2,453	1,067	18.13	マッチング
日生東山※4	1,594	640	482	30.24	巡回

※1 米野木町北山 ※2 東山四～六丁目
※3 岩崎町岩根 ※4 東山一～三丁目

の住民基本台帳上の人口等

(令和7年4月1日現在)



(2) 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区の実施状況



(吹出し) SCが
活躍した部分

日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施の考え方

○令和2年度当初の時点で、香久山地区、日進ニュータウン地区は住民主体による移動支援の取り組みが実施開始済み。

地域への働きかけ

○令和元年度に開催した円卓会議後、生活支援コーディネーターを中心に地域の意向を随時確認。移動支援の取り組みに前向きな地区に対して、令和2年6月～9月にかけて事業内容を説明。モデル事業への参加を呼びかけ。

○令和2年10月に5つのモデル事業実施地区を選定。日進市とのモデル事業実施業務委託契約を締結。

○5つのモデル事業実施地区は、取組状況の段階が異なる。

○そこで、全ての地区で一斉に同じ取組を進めるのではなく、地区毎、年度毎に取組内容をずらし、取組が先行する地区の課題等を後続する地区の取組に反映させることで、よりよいモデル事業の実施を進める。



(2) 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区の実施状況



1 香久山地区・家事支援一体型タイプ（マッチング型）

○平成29年度に、高齢化社会に向けて、地域の助け合いが必要であるという考え方から検討を開始。香久山たすけあうまちづくり協議会が発足。

地域内の調整
(反対意見、不安の声)

組織図案の作成

○平成31年4月から、お互い様の理念に基づき助け合う仕組みとして「ワンコインサービス」の運用を開始。

領収書案の作成

○実施形態：ワンコインサービスの一つとして、送迎を含むほっとカフェ、買い物、病院への付き添い支援。（移動支援に係る部分は無償。）

【家事支援一体型】

運輸支局への同行

○実績：ワンコインサービス実施実績

令和2年度：52件、令和3年度：56件、令和4年度：112件



(2) 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区の実施状況



2 日進ニュータウン地区（米野木町地内）・ついで支援タイプ

○昭和38年頃に開発された団地で住民の高齢化が進むとともに、駅やスーパーマーケットにも距離のある地区。

○「にっしん地域支え合い円卓会議」において、住民主体の移動支援の事例を知ったことがきっかけ。地区内での呼びかけに対して、最初の説明会に40名が参加。

事務局機能の協力

○実施形態：令和元年11月から、火曜日及び金曜日に、行先をスーパーマーケットに限定した住民主体による買い物移動支援が開始。

（運転者が買い物に行くついでに、希望者を同乗させるしくみ）

○実績：令和2年度 延べ利用回数：13回

令和3年度 延べ利用回数/延べ利用人数：23回/33人

令和4年度 延べ利用回数/延べ利用人数：20回/43人

○その他：利用者にアンケートを実施（2件回答）。別の店舗への買い物移動支援を希望する声あり。

利用者とドライバーとの話し合いで行き先店舗や出発時間を決めることにした。



(2) 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区の実施状況



3 五色園地区・家事支援一体型タイプ（マッチング型）

○在宅の高齢者に対し軽度な日常生活の援助を行うワンコインサービスが平成28年12月に開始。

○平成31年2月、近隣のスーパーマーケットの閉店をきっかけとして、ワンコインサービスの新機能として「買い物同行サービス」について検討。

運輸支局相談結果の共有

○平成31年10月に、地区内での移動支援に関するニーズ把握と支援者（ドライバー）の掘り起こしを兼ねたアンケート調査を実施。

○実施形態：ワンコインサービスに準じて、買い物同行サービスを実施。
（移動支援に係る部分は無償。） 【家事支援一体型】

○実績：令和2年度 12月からの運行開始していたが、新型コロナウイルス感染症防止のため、年度内は運行を休止。

買い物同行サービスの手引き、利用申請書、実施報告書など、実施に必要な書類等を整備

令和3年度 支援回数：22回

令和4年度 支援回数：45回

※主な行先：買い物、病院、市内及び近隣スーパー



(2) 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区の実施状況



4 日東東山地区・定時定路線タイプ（巡回型）

押しポイント：モデル事業とのベストマッチング+困惑する自治会との調整

○令和2年6月から、定時定路線の運行形態による移動支援の検討を開始。

自治会との調整

説明用動画作成

○令和2年6月に、地区内での移動支援に関するニーズ把握（利用頻度や希望する行先等）のためのアンケート調査を実施。

アンケート案の作成、実施方法の検討（1年以上）

○「日東お出かけ支援隊」を結成し、令和2年12月から定時定路線での運行を開始。

令和2年度 運行日：25日 運行回数：99回 延べ利用者数：161人

令和3年度 運行日：93日 運行回数：368回 延べ利用者数：680人

令和4年度 運行日：97日 運行回数：384回 延べ利用者数：743人

（運行形態）

運行日：毎週月曜日及び木曜日（年末年始、祝日を除く。）

運行数：午前3便、午後2便（第1便は予約運行）

路線：つどいの場、公共施設、近隣の病院・スーパーを経由

会費：1世帯 月額600円

整形外科でのヒアリング
停留場所への依頼



(2) 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区の実施状況

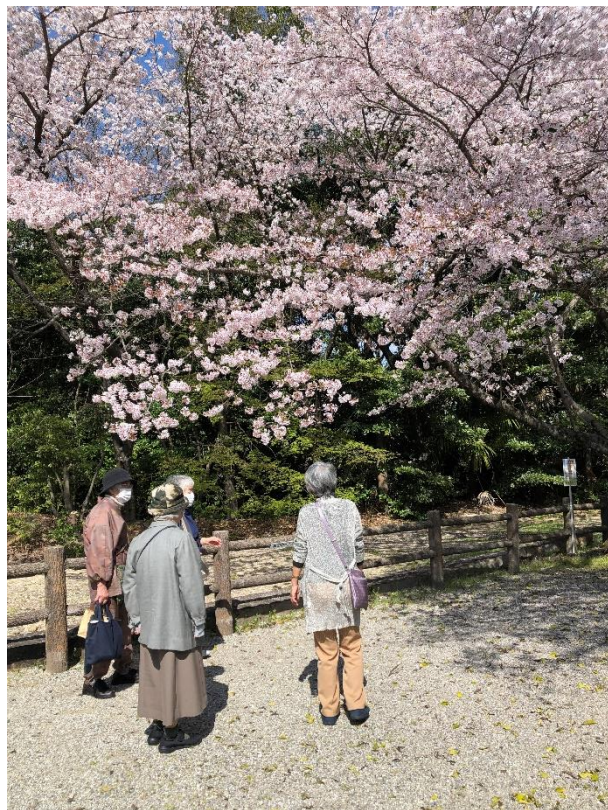


4 日東東山地区・定時定路線タイプ（巡回型）

（使用車両について）

令和2年12月～ 市内NPO法人から無償貸借
令和3年2月～ 市がリース契約した車両を貸与

車両確保の調整



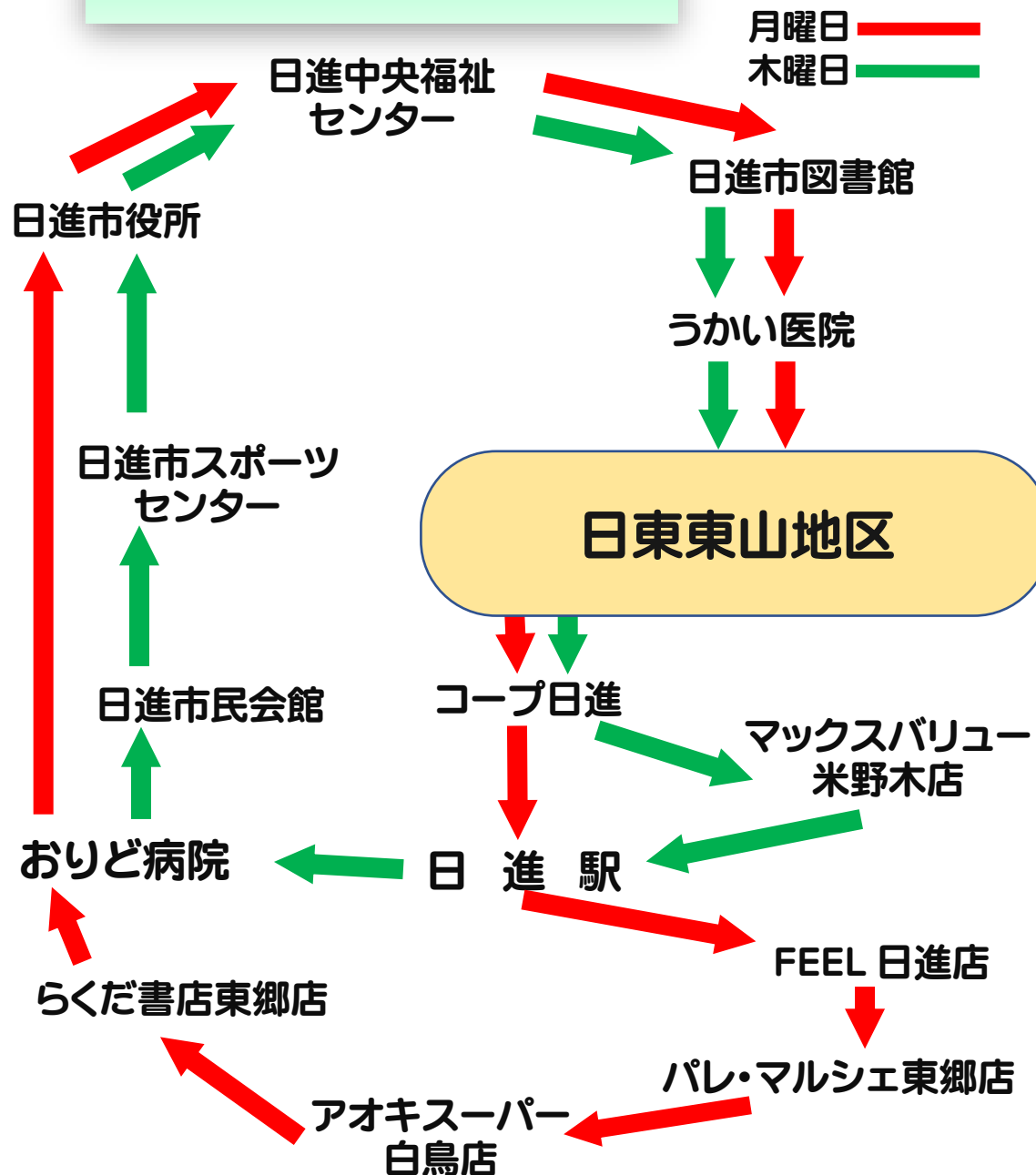
日東 お出かけ支援隊

概要

N O S

- (1) 日東東山自治会員限定の会員制サークル組織として結成し、2020.12,17 出発式より活動開始。
- (2) “**利用するしないにかかわらず趣旨に賛同した方**” が会員となり、会費は “一世帯⇒年額 3,000 円”
- (3) 8人乗りワゴン車1台で、巡回型移動支援をボランティア活動により、“毎週 月・木曜日の週 2 日運行”
 →活動時間 朝 8 時頃～夕方 4 時頃まで
 →年末年始、GW、お盆、祝日は運休あり
- (4) 日々の運行は、
 - ① 目的地直行の朝便（要予約）
 - ② 右図巡回コースを
午前 2 巡回、午後 2 巡回運行。
- (5) その他、お楽しみ企画として、年 3 回程（初詣、花見、紅葉等）ミニツアーを開催しています。

《NOS 巡回コース》



＊ 日東お出かけ支援隊 会員 のみなさまへ ＊

日東お出かけ支援隊
N O S

祝
運行開始
満5歳

一般財団法人 林美術財団
名都美術館
MIITO ART MUSEUM



名都美術館 (長久手市)

とカフェのお出かけ

皆さん、芸術の秋です。

“NHK シルクロード”でお馴染みの、平山邦夫画伯作品を鑑賞後、
気軽にお話できるカフェで、お茶🍵しましょう!!

＊11/28(木)・12/5(木)の通常運行はお休みします。

◇ 施実日時と内容

- ① 令和6年11月28日(木) 9時30分 集合・出発 ～13時30分 解散
- ② 令和6年12月5日(木) 9時30分 集合・出発 ～13時30分 解散

◇ 日程



◇ 参加費 無 料 ＊ただし、お茶代は 実費 (各自でお支払ください。)

◇ 参加申し込みは、11月25日まで お願いします。

日東お出かけ支援隊 ☎ 080-5450-9908、090-2136-5122



< 参加希望票 > お名前 (1名・2名)

希望の日程番号▷ 第一希望 第二希望



(2) 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区の実施状況



5 南ヶ丘地区・定時定路線タイプ（巡回型）

押しポイント：福祉まちづくり協議会（の部会）で運営する移動支援

○令和2年9月に移動支援を考える「おでかけプロジェクト」を立ち上げ。

日東お出かけ支援隊との情報交換会

○令和2年10月に、地区内での移動支援に関するニーズ把握（利用頻度や希望する行先等）と支援者（ドライバー）の掘り起こしを兼ねたアンケート調査を実施。

アンケート案の作成

○南ヶ丘福祉まちづくり協議会内に「南ヶ丘おでかけ支援部会」を立ち上げ、運行形態や運営体制等について検討。

まち協との調整

○令和3年3月23日から定時定路線での試行運行、令和3年5月から本格運行。

令和2年度 運行日・運行回数： 3日・回 延べ利用者数： 28人

令和3年度 運行日・運行回数： 127日・回 延べ利用者数： 323人

令和4年度 運行日・運行回数： 127日・回 延べ利用者数： 542人

（運行形態）

運行日：毎週火曜日及び金曜日、第2・4土曜日 運行数：1日1往復

路線：近隣の駅・スーパーとを往復

会費：一人/年 2,000円

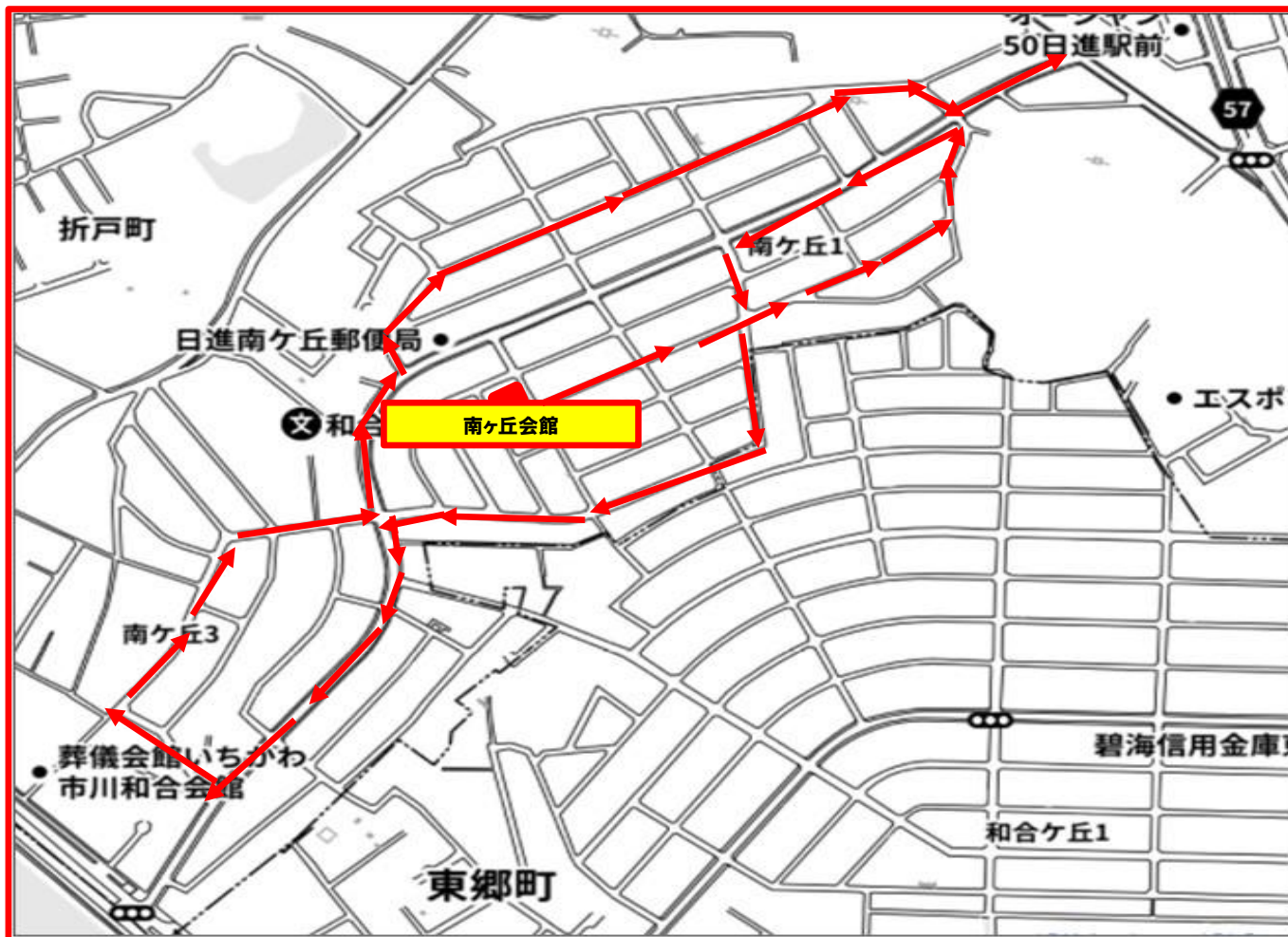
（使用車両について）市がリース契約した車両を貸与



(2) 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区の実施状況



5 南ヶ丘地区・定時定路線タイプ（巡回型）



約2.5 kmの区内走行
乗車場は17カ所



(2) 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区の実施状況



5 南ヶ丘地区・定時定路線タイプ（巡回型）





(2) 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区の実施状況



6 岩根地区・定時定路線タイプ（巡回型）

押しポイント：地域の支え合い、まずは移動支援から

○令和3年4月に岩根地区における住民主体の支え合い活動を考える「支え合い活動検討会@岩根」を立ち上げ。

アンケート案の作成

○令和3年6～7月に、支え合い活動に関する住民アンケートを実施調査を実施。

○定例会や住民座談会、先行地区の見学等を行い、まずは外出サポートから始めることとし、運行形態や運営体制等について検討。

試乗等の調整

自治会への働きかけ
保険の勉強会

チラシへの助言

○住民主体で地域課題の解決と協働する地域づくりを活動目的とする「ささえあい岩根」に改名。地区内で運転ボランティアや付き添いボランティアを募集。

○令和4年2月23日から定時定路線での試行運行、令和4年4月から本格運行。

令和3年度 運行日・運行回数： 6日・回 延べ利用者数： 19人

令和4年度 運行日・運行回数： 58日・回 延べ利用者数： 341人

（運行形態）運行日：毎週水曜日 運行数：1日1往復（令和4年7月から2往復）

路線：地区内のクリニック、近隣のコンビニ、スーパーとを往復

会費：一人/年 1,000円

停留場所への依頼

（使用車両について）市がリース契約した車両を貸与



(2) 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区の実施状況



6 岩根地区・定時定路線タイプ（巡回型）



いわね号 時刻表

2024.4
ささえあい岩根

停 留 所	1 便	2 便
① 岩根集会所	9:40	10:20
②A 1・3組 境界	9:41	10:21
②B アークガーデン 東側	9:42	10:22
③ 三角公園 西	9:42	10:22
④ 坂野内科 西	9:43	10:23
⑤ ちびっこ公園 南側	9:44	10:24
⑥ ファミリーマート岩崎店	9:46	10:26
⑦ ファミリーマート岩根店	9:48	10:28
⑧ ロイヤル石神北側	9:50	10:30
アオキ・カーマ 着	10:00	10:40
各自自由に買い物		
アオキ・カーマ 発	11:00	11:40
岩根 各自宅	11:10 頃	11:50 頃

いわね号の利用には入会が必要です。
下記へお問い合わせください。

ささえあい岩根

電 話 090-3449-6856

メール iwanesasaeai@gmail.com



帰り 11:00 アオキ・カーマ発→各自宅
11:40 アオキ・カーマ発→各自宅



※行先、ルート、停留所、時刻は、利用される方と相談しながら変更する場合があります。



(2) 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区の実施状況



7 藤塚地区・定時定路線タイプ（巡回型）

押しポイント：支え合いの部会のひとつ

○令和3年4～8月に、地域の支え合い全般に関するアンケート調査を実施。

区への働きかけ、アンケート案の作成

○令和3年11月に、アンケート集計結果報告会を開催。「ささえあい藤塚」結成、アンケート結果でニーズが多かった「移動支援」「ほっとカフェ」「学習支援」「にっしん体操」「配食」の部会を立ちあげ。

試乗等の調整

車両確保の調整

○先行地区の見学等を行い、部会定例会や行き先アンケート、お試し運行の結果をもとに、運行形態や運営体制、車両等について検討。ボランティアドライバー養成講座の受講。

チラシへの助言

○令和4年9月から定時定路線での試行運行、10月から本格運行予定。

令和4年度 運行日・運行回数：24日・回 延べ利用者数：73人

（運行形態）運行日：毎週金曜日（午後）※南北2コースを隔週で運行

運行数：1日1往復

路線：地区内の集会所、近隣の金融機関、スーパーとを往復

（使用車両について）市がリース契約した車両を貸与

停留場所への依頼



(2) 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区の実施状況



7 藤塚地区・定時定路線タイプ（巡回型）





(2) 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区の実施状況



8 岩崎台地区・家事支援一体型タイプ（マッチング型）

○令和3年4月に、移動支援検討委員会の立ち上げについて検討を開始、8月に移動支援を考える「移動支援検討委員会」を立ち上げ。

他地区の実施状況の
共有

○令和3年8月～令和4年3月に、計6回の検討委員会を開催。道路運送法の規定や車両、自動車保険について意見交換。

保険の勉強会

○先行地区の見学等を行うほか、12月には岩根地区と合同で移動支援に係る保険勉強会を開催。

見学先との調整

○令和4年4月に、熟年友の会の会員を対象に、お出かけ支援に関するニーズ把握（利用意向の有無や希望する行先等）するためのアンケート調査を実施。

○令和5年2月に、住民向け説明会を開催。4月から本格運行へ。

岩崎台ワンコインサービス

岩崎台を安全・安心して住めるまちにするため、以下の活動を行っています。

家事支援 専用申込先 050-6870-9477

30分～60分以内程度の作業（500円）

以降30分延長毎に（250円）

- 買い物代行 ●宅配便発送手続き
- 冷暖房器具の入れ替え
- 庭の清掃・庭木の簡単な手入れ・草取り
- 家具の移動
- 粗大ごみの運び出し など

簡単な作業は100円～



◆屋内の作業は、原則2人で伺います

お申込み・お問い合わせ 受付時間 **月・水・金 9時～17時**
祝日・夏季休暇 8/13～8/16・年末年始 12/27～1/7 はお休みします

おでかけ支援 専用申込先 050-6882-7338

車を利用したサービスを追加します。

- 近隣病院への付き添い
- 商店への買い物付き添い など
(車での同行、令和5年4月～サービス開始)

◆料金は家事支援と同じです



※有償ボランティア（サービス提供者）募集中



(2) 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区の実施状況



9 日生東山地区・定時定路線タイプ（巡回型）

- 令和3年7月に、まち協設置に向けた協議スタート。10月には、まちづくり協議会設立準備委員会発足。活動イメージとして、当初から移動支援や子ども食堂の希望あり。
- 継続して毎月準備委員会を開催。自治会との連携の仕方、対象範囲（自治会員加入状況の是非）等を検討。

○令和4年2月に、「日生東山園まちづくりの会」として正式に発足

○令和4年9月移動支援の協議スタート

第2層協議体を通じた情報共有

※中部地区第2層協議体参加者が、協議体の内容（他地区での取り組み）を報告をしたこともきっかけに。

○令和4年12月に、市から高齢者移動支援モデル事業の内容について説明

○令和5年1月～2月に、定時定路線での試行運行（第1・3土曜日の午後）

停留場所への依頼

平行して、移動支援に係る保険の勉強会を実施 → 必要を感じて同日加入手続き

○令和5年3月に、出発式を開催

令和4年度 運行日・運行回数：4日・回 延べ利用者数：45人



(2) 日進市高齢者移動支援推進事業 モデル事業実施地区の実施状況



9 日生東山地区・定時定路線タイプ（巡回型）

（運行形態）運行日：第1・3土曜日（午後）

運行数：1日2往復

路 線：地区内の集会所、団地内、スーパーなどを往復

（使用車両について）市の車両を貸与





(3) 日進市高齢者移動支援推進事業 令和5年度以降の事業の広がり



3 五色園地区・定時定路線タイプ（巡回型）相乗り便 の開始

- （運行形態）運行日：毎週火曜日（午前）
運行数：1日1往復
路線：地区内、近隣のスーパーとの往復
（使用車両について）市の車両を貸与

8 岩崎台地区・定時定路線タイプ（巡回型） の開始（令和7年4月～）

- マッチング型とは別に、巡回型買い物支援の開始を目指し、令和6年4月から毎月第4日曜日午前に検討会を開催
- 検討会には、SCも定期的に参加するほか、必要に応じて市も出席し、道路運送法や補助金の考え方について情報提供
- 令和7年4月から巡回型の運行を開始
（運行形態）運行日：毎週水曜日（午前）
運行数：1日2往復
路線：地区内、近隣のスーパーとの往復
（使用車両について）市の車両を貸与



(3) 日進市高齢者移動支援推進事業 令和5年度以降の事業の広がり



10 香久山地区②・定時定路線タイプ（巡回型）

- 住民の方から「気楽に集まれる場所、おしゃべりできる場所がもっとあったら良いのに」という声を受け、外出の機会、地域交流コミュニティづくりの機会として検討。
- 令和5年7～9月
おしゃべりカフェ企画案をまとめ、既存の香久山ワンコインサービスとの連携を打診
⇒ 運転手不足、現状病院付添支援が多いことから連携は断念
- 令和5年12月～令和6年4月
他地区の取り組みや現状についての情報収集、アンケートの実施について検討
- 令和6年5月～8月
まずは当初の目的どおり、外出機会やおしゃべりの場の提供を目指す。（買い物等についておいおい） 他地区のお出かけ支援見学、ドライバー養成講座受講
- 令和6年9月
お試しお出かけ企画
- 令和6年10月～
毎月第2水曜日の午後で運行開始 行先：市内及び近隣の喫茶店

第2層協議体を通じた情報共有



(3) 日進市高齢者移動支援推進事業 令和5年度以降の事業の広がり



10 香久山地区②・定時定路線タイプ（巡回型）





4 事業の成果及び評価 今後の課題



4 事業の成果及び評価、今後の課題



事業の成果及び評価

○高齢者の生活全般を支援する仕組みの一部としての移動支援、移動支援をきっかけとした地域での見守りや地域コミュニティづくりが目的。

運行中に熱中症のおそれのある高齢者を保護する、定期的に利用されるはずの方が利用されなかった日は運行後に訪問して安否確認する、紅葉見学や初詣ツアー、カフェ巡りを企画し外出の機会を増やす、などの取り組みがあった。

○モデル事業実施地区以外にも移動支援に興味を示す地区もあったが、担い手の確保等が課題となり断念した地区もある。

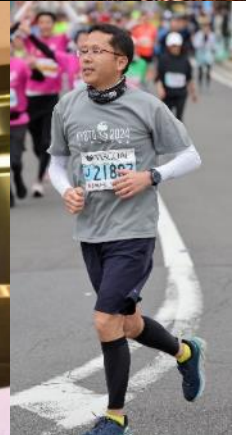
ただ、生活支援コーディネーターの働きにより、移動スーパーの誘致など他の生活支援サービスの実施に結びつけるなど、生活支援における選択肢の一つとしての移動支援、という整理もできつつある。

今後の課題

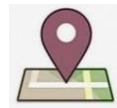
○ドライバーの確保ややりくりは多くの地区に共通の課題。

ドライバー養成講座は定期的に行っているが、実施地区内だけで新たなドライバーを掘り起こすのは限界。

⇒複数地区合同運行やドライバーやりくりの動きがある。



野村 圭一 Nomura, Keiichi



〒470-0192 日進市蟹甲町池下268
日進市都市産業部都市計画課

TEL:0561-73-2049 FAX:0561-73-1821

E-mail:toshikeikaku@city.nisshin.lg.jp

n924_nomura@city.nisshin.lg.jp